

病害虫防除技術情報第16号

令和6年9月3日
三重県病害虫防除所

ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺数が急増しています。

1 対象作物：野菜類・ダイズ・花き類・果樹類

2 対象病害虫名：ハスモンヨトウ

3 発生状況と気象の状況

(1) 県予察圃（松阪市嬉野川北町）におけるフェロモントラップ誘殺数（8月第1半旬～第6半旬）は1,222頭（平年723.8頭）と多い状況です（図1）。

(2) 1か月予報（8月29日・名古屋地方気象台発表）によると、向こう1か月の気温は高い見込みで、ハスモンヨトウの発生に好適条件が続くと考えられます。

(3) 令和6年8月15日に病害虫防除技術情報第12号を公表しています。

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001152977.pdf>

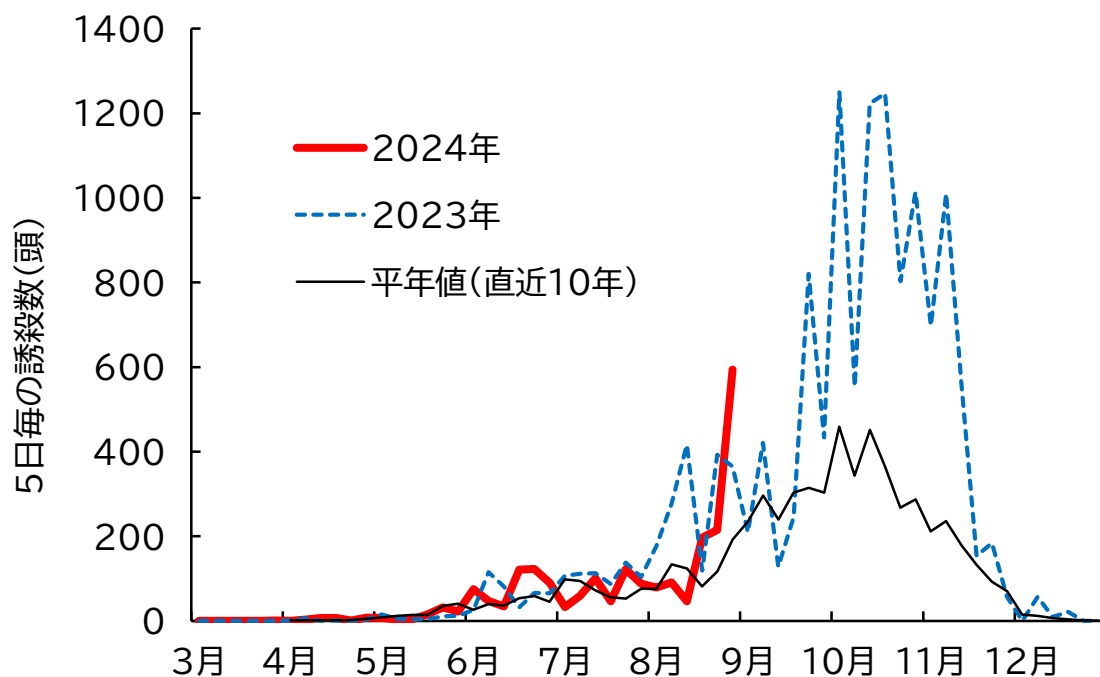


図1 フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺消長
(調査場所:松阪市嬉野川北町)

4 防除対策

- (1) こまめにほ場を見回り、薄茶色の毛で覆われた卵塊や白変葉を目印にして若齢幼虫が分散する前に捕殺してください（図2）。
- (2) 薬剤防除の場合は白変葉に注意して早期発見に努め、若齢のうちに防除してください（図2）。

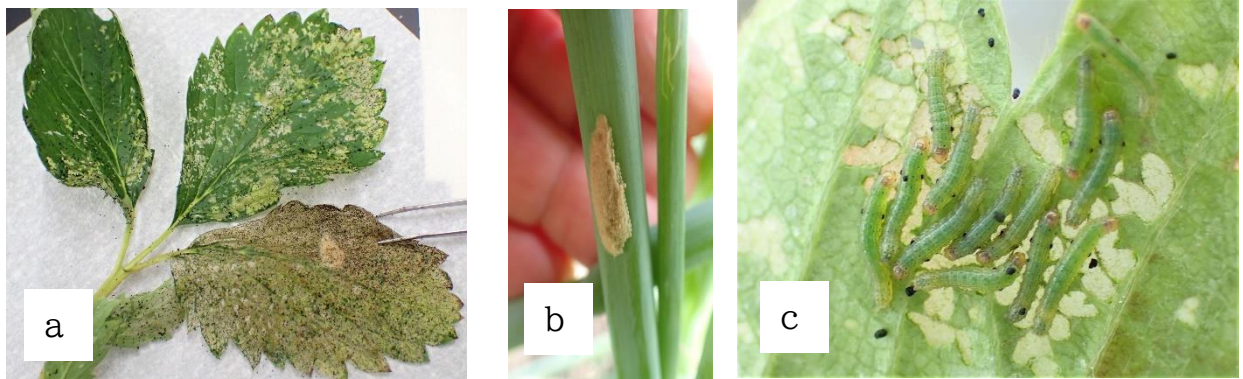


図2 aハスモンヨトウによる白変葉(イチゴ) b卵塊(ネギ) c分散前の若齢幼虫

- (3) 若齢幼虫は葉裏に群集するので、薬剤は葉裏にかかるように丁寧に散布してください。
- (4) 施設栽培の場合は、開口部に防虫ネットなどを隙間なく設置して侵入を防いでください。パイプや柱などやや高いところにも産卵するので注意してください。
- (5) 薬剤抵抗性回避のため、異なる作用機構の薬剤をローテーション散布してください。
- (6) 成虫の産卵防止対策には性フェロモン剤（交信かく乱剤）を利用する方法もあります。
- (7) 防除薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。
<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>
- (8) ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺状況は、以下の野菜の病害虫のページにて随時更新しています。

<https://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39619007432.htm>

農薬は必ずラベルの表示を確認し、使用方法を守って使いましょう。